

スタッフの広場

ニュースタッフ紹介

4月以降、新しく加わったスタッフをご紹介します。



角田 亮子
言語療法士
リハビリ
テーション科



石井真実子
理学療法士
リハビリ
テーション科



石原 千恵
看護師
一般病棟



泉 洋子
看護師
一般病棟



天賀 友紀
看護師
一般病棟



黒瀬 美幸
看護師
一般病棟



笠原 正博
薬剤師
薬剤科

通所リハビリテーションのご案内

通所リハビリとは

身体の不自由なお年寄りや、認知症の方々に日中当施設にて過ごして頂き、個別のリハビリテーション・健康チェック・入浴・ゲームなどを通して、心身の機能の維持回復を目的としています。

利用対象者

介護保険で要支援 1~2 要介護 1~5 と認定された方

利用日時

月曜日~土曜日 午前9:00~午後4:00

日・祝日はお休みです

サービス内容

- ① ご自宅までの送迎（車イスが乗れるリフト車があります）
- ② 健康状態の確認（血圧・脈拍・体温測定）
- ③ 食事（管理栄養士による食事提供）
- ④ 入浴（特別浴槽による入浴もできます）

また理学療法士・作業療法士による個別リハビリテーションも行っています。



☆ニュースタッフです☆



山口 ひろみ



村上 裕子

お申込み・お問い合わせは

医療法人社団 操仁会 岡山第一病院 通所リハビリテーション
Tel (086) 272-4088 担当/朝原(あさはら)

-編集後記- 今回の広報誌「さいわい」では「病院機能評価認定」という大変うれしい話題をお伝えできました。厳しい「訪問審査」に向けて、職務の合間を縫いながら書類作成や審査面談対策に追われた日々を忘れることはできません。スタッフ一丸となって大きな目標を達成したことは、大きな自信となりました。(sei)

医療法人社団操仁会
岡山第一病院
岡山市高屋343
電話：086-272-4088

さいわい

岡山第一病院広報誌
第10号
平成18年9月15日
ホームページアドレス
<http://okayama-daiichi.jp/>



病院機能評価認定されました！

院長 諸國 眞太郎



この度、医療法人社団操仁会 岡山第一病院が財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver 4.0)を受審して認定されたのでこれを報告します。

高齢化、疾病構造の変化、医療技術の進歩等により、医療に求められるものが、高度化、多様化しています。また、医療に対する関心や要求がますます高まっています。このような中で、医療提供状況に関する正しい情報を提供し、良質な医療提供を推進し確保していくことが、重要な課題となりました。そして医療機関は医療の質を保証することが求められ、第三者による外部評価を受け、質の高い医療サービスを提供していく必要があります。

病院機能評価はこのような中で始まり、全国の9077の病院のうち2164の病院が認定を受けています。岡山県には181の病院がありますがそのうち55番目の認定になります。認定に必要な事項は医療・看護の質はもちろんのこと経営の健全性も必要です。この認定に求められる基準は大きな病院も当院のような小さな病院も同じなので小病院には非常にハードルの高いものとなっているのが現状です。

平成12年4月に院長に就任して掲げた目標「第一病院の改革」の一区切りになります。今回の認定にあたり職員が一つになって取り組んでくれたことが最大の成果だったと思っています。

まだまだ、改善すべき点は山積しています。今後とも「皆様の笑顔のため」に職員一同職務を果たしていく覚悟ですのでよろしくお願いたします。

理念

患者様の声に耳を傾け、こころ通じ合う医療

皆様の笑顔のために

基本方針

- 地域の皆様の視点に立った安全で質の高い効率的なサービスの提供
- 医療・看護・福祉および健康増進のトータルヘルスケアサービスの提供

サプリメントドック・ビタミンドック 大 を開設しました！！

サプリメントドック・ビタミンドック 大

がRSK（山陽放送・11ch）の取材を受けました。

岡山県下初のサプリメントドック・ビタミンドックがRSK（山陽放送・11ch）の取材を2回受けました。1回目の撮影は、8月25日（金）に行われ、朝のラジオでおなじみの石田好伸アナウンサーが来院。石田アナがサプリメントドックを受けるところや、外来の待合室での受付風景などの撮影がおこなわれました。また、9月12日（火）には2回目の取材があり、亀山典子医師によるサプリメントドックの結果へのアドバイスシーン、亀山裕子医師による美容についてのお話や諸院長と石田アナとの健康全般に関する対談シーンなどの撮影が順調に終了しました。なお、この模様は9月26日（火）午前9:55～RSK（山陽放送・11ch）で放映されます！！



石田 好伸
アナウンサー



☆順調に撮影を続けるRSK山陽放送のスタッフ（写真左）



☆最新の内臓脂肪測定器 Inbody720 で体脂肪量などの測定を受ける石田アナ（写真右）

“病氣を見つける” 検診から “病氣を予測する” 検診へ

約20分の簡単な検査で自分の体を知ることが出来る「サプリメントドック」。

いつまでも健康な体でいられるためには、まず自分の体内環境を知ることが大切です。

「サプリメントドック」とは自分の体内環境を把握し、最適なサプリメントを診断し、栄養改善するための検診です。首都圏で話題を集めている「サプリメントドック」を岡山県で初めて取り入れたのが岡山第一病院です。これまで特に動脈硬化をはじめとする血管疾患に力を注いできましたが、治療だけでなく病気の予防分野を増設できれば「サプリメントドック」の開設に至りました。

短時間で自分の体内環境がわかります

まず、簡単な問診表の記入と尿尿・採血。身体測定が行われ、約3週間後に検査結果が自宅に郵送されます。このアドバイスシートは自分の体内環境が一目でわかり、生活習慣病のリスク改善すべき点などわかりやすく解説されています。また人間ドックに比べて自分に必要なサプリメントだけが知りたければ「ビタミンドック」もおすすめです。

ここまでの約20分程度（ビタミンドックの場合約10分）

約3週間後 結果郵送

見やすく分かりやすい「アドバイスシート」が自宅に郵送されます。

医師のカウンセリング（オプション）

結果についてもっと詳しく知りたいとき、もっと細やかなアドバイスが欲しい時には岡山第一病院の医師が丁寧にカウンセリングしてくれます。

サプリメントドック ¥44,100 (税込)
オプション(有料・予約制) 医師からのアドバイス・栄養カウンセリング

ビタミンドック ¥19,950 (税込)
オプション(有料・予約制) 医師からのアドバイス・栄養カウンセリング

皮膚科の医師より
美肌・美白に関心のある方もぜひ「サプリメントドック」を！

ビタミンE、カロチン、リコピンのような抗酸化作用がありますので、紫外線から肌を守ったりシミやシワを防ぐなどの美肌・美白効果が期待できます。ビタミンやミネラルをバランスよく摂取することによって肌の乾燥を防ぐこともできます。食事では足りないビタミンやミネラルを手で補うためにもサプリメントドックを受けられることをおすすめします。

眼科の医師より
加齢とともに「白内障」が心配な方もぜひ「サプリメントドック」を！

加齢黄斑変性や白内障により視力が低下するのを防ぐためにサプリメントドックで「サプリメント」により視力向上をサポートする効果が期待できます。目の健康について関心がある方はぜひ一度受けられてはいかがでしょうか。

Supplement Dock サプリメントドック
Vitamin Dock ビタミンドック

医療法人社団操仁会
岡山第一病院
http://www.okayama-daiichi.jp/
086-272-4088
岡山市高屋343 予約受付時間9:00～17:00(月～金・要予約)

◇この番組の放映予定◇

9月26日（火）午前9:55～午前10:10

RSK（山陽放送・11ch）にて「サプリメントドック・ビタミンドック特集」

として放映されます。ぜひ、ご覧くださいませ。

言語療法とは？



言語聴覚士（ST）は患者様とご家族の良き相談相手

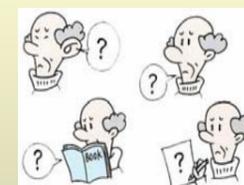
当院では4月から言語聴覚療法室（病棟5F）を開設しています。角田亮子言語聴覚士に言語療法についてお話をうかがえます。

Q:言語療法とは？

ことばによるコミュニケーションに問題を生じた方（失語症・構音障害など）食べたり飲んだりすることに問題を生じた方（摂食・嚥下障害）、学習や記憶など高次脳機能の障害となった患者様に、専門的な訓練や指導を行うことで、コミュニケーションの問題を少しでも改善させ、生活の質が向上することを目指します。

Q:脳血管障害で起こる障害にはどんな種類がありますか？

失語症・構音障害・摂食、嚥下（えんげ）障害等があります。今回は失語症についてお話しします。大脳の「言語野（や）」と呼ばれる場所に損傷を受けることによって、ことばの障害が生じ「人から言われたことばがよくわからない」「文字や文章がよくわからない」「うまくことばが話せない」「うまく文字が書けない」などの症状がみられます。つまり「聞く」「読む」「話す」「書く」の全ての側面が障害されます。しかし同じ失語症であっても症状は人によって様々です。障害された機能の改善を行いながら同時に残された機能を活用して、コミュニケーションがよりとりやすい方法を見つけていきます。次回は構音障害・摂食、嚥下障害についてお話しします。



失語症になると聞く、読む、話す、書く能力に障害を受ける